

日本社会情報学会通信

Vol.20 No.1 2004.12.15

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

会 長 挨拶

【平成17(2005)年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 太田 敏澄

平成16(2004)年度は、皆様のご協力により、大過なく学会の活動を行うことができましたことを感謝申し上げます。第19回全国大会を節目に私の会長の任期も後半を迎えました。

社会情報学会の使命は、デジタル・ネットワークの発展とともに、ますます重要性を増していると考えられます。社会情報学の学際的性質に鑑み、関連学協会をはじめ広く社会での協業を推進し、理念的にも、実践的にも、社会における問題解決に資する学会としての評価を得るべく、研鑽に励もうではありませんか。

平成17(2005)年度も皆様のご協力と積極的な学会諸活動へのご参加をお願いいたします。

<平成17(2005)年度事業計画の方針>

1. 問題解決に資する学会への志向

学会の特色である「産官学+民」での協業の推進

2. 学術的交流の推進

全国大会の開催

定例研究会の開催

情報政策研究会の開催

研究部会の開催

シンポジウムの開催

支部研究会の開催

3. 会員増加を図る広報活動の推進

総務委員会、学術委員会、研究促進専門委員会

4. 学会活動全般の活性化に資する方策についての会員の意見・提言の積極的な実現

常任委員会の開催

<平成17(2005)年度役員体制> (敬称略)

[会長]	太田 敏澄	電気通信大学大学院情報システム学研究所	教授
[副会長]	須藤 修	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	教授
	遠藤 薫	学習院大学法学部	教授
	根本 敏則	一橋大学商学研究科	教授

<常任委員長> *兼任

・常任理事	前田 隆正		
・総務委員会	*根本 敏則	・企画委員会	福田 豊
・学術委員会	*遠藤 薫	・表彰委員会	小菅 敏夫
・事務局	和泉 恵子		

<支部長>

・関西支部	小郷 直言
・九州支部	財部 忠夫
・中部支部	和泉 潤

[監査人]

小林 登	(株)桑原情報研究所 監査役
村上 幸栄	東京フードサービス(株) 取締役

[理事] 50音順

安藤 明之	東京経済大学コミュニケーション学部	教授
石田 亨	京都大学情報学研究科社会情報学専攻	教授
和泉 潤	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	教授
潮田 邦夫	日本コムシス株式会社	
海野 忍	(株)NTTデータ 公共地域ビジネス事業本部	取締役・本部長
大山 永昭	東京工業大学フロンティア創造共同研究センター	教授
尾関 敬二	社会福祉法人練馬区社会福祉事業団	
河西 宏之	東京工科大学コンピュータサイエンス学部	教授
清原 慶子	三鷹市長	
熊田 禎宣	千葉商科大学政策情報学部	教授
国領 二郎	慶応義塾大学環境情報学部	教授
小郷 直言	大坂大学大学院経済学研究科	助教授
小菅 敏夫	電気通信大学人間コミュニケーション学科	教授
五藤 寿樹	聖徳大学人文学部現代ビジネス学科	助教授
小林 宏一	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科	教授
小向 鋭一	東洋オフィスメーション(株)	常務取締役
坂野 達郎	東京工業大学大学院社会理工学研究科	助教授
島田 達巳	摂南大学経営情報学部	学部長・教授
財部 忠夫	中村学園大学流通科学部	教授
田中 啓一	日本大学経済学部	教授
玉井 弘明	東日本電信電話(株)ナショナルビジネス推進部	取締役・部長
田村 紀雄	東京経済大学コミュニケーション学部	教授
茶谷 達雄	都市情報システム研究所	所長
辻井 重男	中央大学理工学部	教授
富永 英義	早稲田大学国際情報通信研究センター	所長・教授
富山 慶典	群馬大学社会情報学部	教授
中嶋 聞多	信州大学人文学部	教授
濱田 純一	東京大学大学院情報学環	教授
氷鮑 揚四郎	筑波大学農林工学系	教授
平林 幹朗	日本社会情報学会	
廣松 毅	東京大学大学院総合文化研究科教養学部	教授
福田 豊	電気通信大学人間コミュニケーション学科	教授
前田 隆正	三鷹市/情報政策コーディネーター	
松行 康夫	東洋大学経営学部/経営研究所	教授/所長
安本 哲之助	鳥取環境大学情報システム学科	教授
山森 俊彦	NTTデータクリエイション(株)	代表取締役社長

第19回 日本社会情報学会全国大会報告

第19回全国大会実行委員長
太田敏澄（電気通信大学）

統一テーマ 『ユビキタス・ネットワーク時代の社会情報学』

日時： 2004年9月16日（木）10:00～17:00

2004年9月17日（金）10:00～17:00

会場： 電気通信大学 東京都調布市調布ケ丘 1-5-1

2004年9月16、17日の両日に開催された第19回日本社会情報学会全国大会は、延べ140名の参加者を集め、盛況のうちに幕を閉じました。

基調講演、特別講演、基調シンポジウム、自治体ワークショップ、一般研究報告のいずれも内容の濃い、実り多いものでした。これもひとえに会員皆様の熱意の表れと存じ、深く感謝いたします。

また、本大会にご協賛戴きました団体・企業の方々に心より御礼申し上げます。

【開催内容】

[一日目 9月16日（木）]

10:00-10:05	開会セレモニー「開会挨拶」 星守(電気通信大学大学院情報システム学研究科長)	特別会場(B棟202)
10:05-12:00	司会:宮崎緑(千葉商科大学) 基調講演「法人化の現状と日本の大学の課題」 益田隆司(電気通信大学長) 特別講演「新たな「電子政府構築計画」の実現を目指して」 高森國臣(行政情報システム研究所専務理事)	特別会場(B棟202)
12:00-13:00	昼食休憩	
13:00-16:00	基調シンポジウム ユビキタス・ネットワーク時代の社会情報学 パネリスト: 太田敏澄(電気通信大学) 根本敏則(一橋大学) 富山慶典(群馬大学) 金光淳(政治経済研究所) 村本理恵子(ガーラ) 出口弘(東京工業大学) オーガナイザー&司会 遠藤薫(学習院大学)	特別会場(B棟202)
	自治体ワークショップ 東京の共同運営から見える電子自治体 課題と展望 報告者: 木谷正道(東京都IT推進室) 浅井浩(板橋区) 鈴木孝一(調布市) 後藤省二(三鷹市) 前田隆正(あすのまち・三鷹推進協議会) コーディネーター: 五藤寿樹(聖徳大学) コメント: 茶谷達雄(都市情報システム研究所) 総合司会: 尾関敬二(練馬区)	ワークショップ会場(B棟201)
16:10-17:00	会員総会	特別会場(B棟202)
17:10-19:00	懇親会	(大学会館3F・ハルモニア)

[二日目 9月17日(金)]

10:00-12:00	A1: コピキタスA会場 (A棟101) 座長: 増田祐司(島根県立大学) コメンテータ: 新井潔(千葉工業大学) 「生活世界におけるコンテキストのデジタル化が生活世界に与える影響」 竹上慶(情報通信総合研究所) 「コピキタス社会における公共圏」 竹村朋晃(電気通信大学) 「高校生の携帯電話利用に関する入学年度別の比較研究」 毛利康秀(日本大学) 「市民の目線からみたコピキタス情報社会とプライバシー」 小森谷久美(東京工科大学), 藤井健司, 木戸邦彦, 屋代聡(日立製作所)
10:00-12:00	B1: 地域の活性化 B会場(A棟102) 座長: 須藤修(東京大学) コメンテータ: 山本佳世子(名古屋産業大学) 「平素からの人・物・情報の交流による震災対策「震災疎開パッケージ」」 小森谷久美(東京工科大学) 「地域産業振興におけるwebサイトの活用に関する考察」 平本一雄, 神田章弘(東京工科大学)
10:00-12:00	C1: 情報化の評価 C会場(A棟201) 座長: 廣松毅(東京大学) コメンテータ: 三友仁志(早稲田大学) 「自治体電子化の進展と評価に関する考察」 平本一雄, 神田章弘, 比田井也寛(東京工科大学) 「インターネットを利用した電子コミュニティとQOL(Quality of Life)の促進」 坂部創一, 関口義一(創価大学) 「地域における情報発信活動の評価指標の開発」 並木志乃(東京大学) 「生活医療における病院評価」 山路学(早稲田大学), 山本仁志(電気通信大学), 岡田勇(創価大学), 石田和成(東京農業大学), 太田敏澄(電気通信大学)
10:00-12:00	D1: 情報化と政策 D会場(A棟202) 座長: 小林宏一(東洋大学) コメンテータ: 広瀬弥生(東京大学) 「ユニバーサル・デザインの政策評価をもたらすリスクコミュニケーションの知識創造」 吉田大悟, 熊田禎宣, 宮崎緑(千葉商科大学), 坂野達郎(東京工業大学), 小倉功(千葉商科大学) 「原子力発電所に関するリスク・コミュニケーションのプロセスを再編する合意をどう形成するのか」 宮崎緑(千葉商科大学), 新井潔(千葉工業大学), 樹下明(東北文化学園大学), 熊田禎宣(千葉商科大学), 坂野達郎(東京工業大学), 太田敏澄(電気通信大学), 那須貴文(千葉商科大学) 「高齢「生活者」のIT社会参画に関する現状と課題」 竹本正男(電気通信大学) (Canceled) 「情報化政策と情報技術革新による情報化の進展と課題の比較研究 中国と日米等情報先進国との比較を中心に」 李瑁玉(電気通信大学)
10:00-12:00	E1: 人材やビジネスの育成 E会場(A棟301) 座長: 福田豊(電気通信大学) コメンテータ: 安藤明之(東京経済大学)

	<p>「次世代育成支援とIT」 岡本愛子,国島義明(富士通総研) 「企業革新のためのeラーニングの戦略的活用」 大嶋淳俊(UFJ総合研究所) 「市場と非市場領域におけるITスタートアップベンチャーの経済分析」 大村好則(KDDI株式会社) (Canceled)「情報社会を踏まえた企業における人と組織のあり方 -中国古典からのアプローチ-」 叶心玉(北京万興科学技術研究所),志村朋紀(早稲田大学)</p>	
10:00-12:00	<p>F:ISAC(アイザック)研究部会ワークショップ 「地域活性のプラットフォーム ~社会情報学からの提案~」 座長:中嶋聞多(信州大学) 報告:村岡元司(NTTデータ経営研究所) パネリスト: 加藤幹夫(文部科学省) 島裕(日本政策投資銀行) 高田和夫(東武鉄道株式会社) 刀川眞(NTTデータ) 前多正博(青森県)</p>	F会場(B棟101)
13:00-14:30	<p>A2:リスクマネジメント 座長:森田光(日本電信電話) コメンテータ:松井啓之(京都大学) 「原発事故等におけるリスク情報公開の信頼ゲームによる分析-インスペクトエージェントの役割」 梅原英一(野村総合研究所),太田敏澄(電気通信大学) 「マネジメントサイクル(PDCA)における情報セキュリティ監査の役割とその効果 -自治体の先端事例に基づく考察-」 藤森守,中野節子,安本哲之助(情報システム監査株式会社) (Canceled)「反撃を含むセキュリティ維持の技法と法的境界」 田島真幸(群馬大学)</p>	A会場(A棟101)
13:00-14:30	<p>B2:地域の情報化 座長:五藤寿樹(聖徳大学) コメンテータ:草瀬美緒(新潟国際情報大学) 「地域情報化と非市場領域」 永野寛(情報通信総合研究所) 「通信ネットワークを活用した島嶼共治組織支援研究 ~島内ガバナンス向上と支援ネットワークの連結~」 安達浩昭(長嶋島嶼共治組織支援チーム) 「地域ポータルサイトの形成過程とコンテンツの比較分析」 古坂正人(東京大学)</p>	B会場(A棟102)
13:00-14:30	<p>C2:ネットワーク社会の理論と応用 座長:石田亨(京都大学) コメンテータ:櫻井成一郎(明治学院大学) 「コミュニティ・ネットワークの類型論 -適切な問題解決法を選択するために-」 天野徹(江戸川大学) 「Agent-based Approachによる社会知能の発現に関する考察」 山本仁志,太田敏澄(電気通信大学)</p>	C会場(A棟201)
13:00-14:30	<p>D2:市民参加と情報化 座長:田村紀雄(東京経済大学)</p>	D会場(A棟202)

	<p>コメンテータ:氷鮑揚四郎(筑波大学) 「市民の手による地域情報化推進の課題 - コミュニティ情報化の実証的研究 - 」 福田豊(電気通信大学),和泉恵子(キャンパスクリエイト),竹内利明(電気通信大学) 「インターネットを利用した市民・住民活動のネットワーク化に関する研究 琵琶湖地域における環境保全活動を事例として 」 山本佳世子(名古屋産業大学) 「政策評価結果に対する住民意見の把握反映手法の利用状況と課題 - パブリック・コメント手続を中心に」 林健一(群馬県産業経済局)</p>	
13:00-14:30	<p>E2:産学連携と知的財産 座長:根本敏則(一橋大学) コメンテータ:佐藤佳弘(情報文化総合研究所) 「ITを中核とした産学連携による教育研究プログラム開発モデルについて 英国及び北欧にみる地域クラスター開発戦略の試み 」 河又貴洋(県立長崎シーボルト大学) 「知的財産を活用した資金調達の現状と課題」 沢本吏永(東京大学)</p>	E会場(A棟301)
15:00-16:30	<p>A3:公共サービス 座長:関口義一(創価大学) コメンテータ:坂野達郎(東京工業大学) 「新保健所構想とITの役割」 伊藤麻依子,国島義明(富士通総研) 「地方における公共図書館とビジネスマンのコラボレーションに関する一試論」 住田友文,嶋崎真仁,亀田英明(秋田県立大学) 「ITSにおける車車間情報通信システムのモデル構築に関する考察」 高橋常夫,三友仁志(早稲田大学)</p>	A会場(A棟101)
15:00-16:30	<p>B3:行政の情報化 座長:平本一雄(東京工科大学) コメンテータ:富山慶典(群馬大学) 「情報システムの最適化と今後の課題」 美馬正司(未来工学研究所) 「電子自治体窓口としての自治体ホームページの方向性に関する基礎的研究 ~ 自治体の情報化事業とホームページの歴史的変遷から ~」 山口直人,草瀬美緒(新潟国際情報大学),松井啓之(京都大学) 「地方公務員のコンピュータを用いた研修の現状と問題点について」 藤本吉則(東北大学)</p>	B会場(A棟102)
15:00-16:30	<p>C3:CMC 座長:遠藤薫(学習院大学) コメンテータ:五十嵐寧史(福岡大学) 「ユビキタス時代の電子コミュニティのテキスト情報交換に関する一考察」 渡辺理(富士通研究所) 「インターネット上のコミュニケーション」 後藤舞(電気通信大学) 「CMCの現状と課題」 早川くらら(電気通信大学)</p>	C会場(A棟201)
15:00-16:30	<p>D3:社会シミュレーション 座長:兼田敏之(名古屋工業大学) コメンテータ:中井豊(芝浦工業大学)</p>	D会場(A棟202)

	<p>「語りかけるような社会シミュレーションモデル- 万人のための社会科学を目指して -」 石田和成(東京農業大学),太田敏澄(電気通信大学)</p> <p>「社会科学とモデロジーに関する一考察 思考手段としてのシミュレーションの役割の再検討」 岡田勇(創価大学),太田敏澄(電気通信大学)</p> <p>「ユキピタス情報社会は定年廃止のリスクを受容可能にするのか」 草瀬美緒(新潟国際情報大学),宮崎緑,熊田禎宣,菅野愛(千葉商科大学),平井愛山(東金病院), 太田信雄(千葉商科大学)</p>	
15:00-16:30	<p>E3:出版・メディア</p> <p>座長:小菅敏夫(電気通信大学) コメンテータ:後藤玲子(茨城大学)</p> <p>「テレビ史にみる市民的人間型の生成」 棚田梓(東京大学)</p> <p>「IT時代の出版のかたち」 青柳彰(電気通信大学)</p> <p>「地域メディアとしてのCATV - 送り手意識調査をてがかりとして -」 牛山佳菜代,姜英美,川又実(東京経済大学)</p> <p>小倉功,宮崎緑,熊田禎宣,吉田大悟(千葉商科大学),太田敏澄(電気通信大学)</p>	E会場(A棟301)
16:40-16:50	大会総括 太田敏澄(電気通信大学)	
16:50-17:00	<p>閉会セレモニー</p> <p>1.「会長挨拶」 会長 太田敏澄</p> <p>2.「次回大会開催校挨拶」 京都大学 石田亨</p>	

第7回研究発表賞受賞者報告

< 第19回全国大会研究発表 >

選考委員会委員長 小菅 敏夫
(学術委員会/表彰委員会)

2004年9月16日 - 17日に行われた第19回日本社会情報学会での一般研究報告のなかから、座長およびコメンテータの評価と大会参加者の投票にもとづき、下記の2件に対して日本社会情報学会大会研究発表賞を授与することとし、理事会の承認を得ました。

その結果をご報告いたしますとともに、その栄誉をたたえ、研究発表論題をここに掲載いたします。

受賞者の方々には、次回大会の総会におきまして、会長より賞状を授与いたします。

(敬称略)

発表表題 「Agent-based Approach による社会知能の発現に関する考察」

発表者 山本仁志、太田敏澄 (電気通信大学)

発表表題 「社会科学とモデロジーに関する一考察

思考手段としてのシュミレーションの役割の再検討」

発表者 岡田勇 (創価大学) 太田敏澄 (電気通信大学)

* 受賞者の発表要旨は、「第19回全国大会研究発表論文集」に掲載。

☆ 理事会報告 ☆

【第一回理事会報告】

日時 平成16年11月26日（金）18:00-20:00
会場 電気通信大学 [P棟5F 517号室]（調布市調布ヶ丘1-5-1 太田研究室 0424-43-5660）
出席者 8名（順不同・敬称略）太田、根本、小菅、福田、尾関、安藤、山本、和泉（委任20）
議事

1. 各委員会の運営および事業実施計画について
 - ① 総務委員会
 - ・16年度収支決算
 - ・建物使用賃貸契約
 - ・未納者会員への対応
 - ・定款、会員会則、会費会則改訂
 - ・入退会会員
 - ② 企画委員会
 - ③ 情報政策研究会
 - ④ 表彰委員会
 - ⑤ 学術委員会
 - ・第19回収支報告
2. 理事選挙管理委員会について
3. その他
 - ・日本学術会議会員候補者に関する情報提供について

- 配布資料
- 1 総務委員会報告
 - 2 建物使用賃貸契約書
 - 3 平成14年、15年、16年度会費未納者リスト
 - 4 定款改訂版
 - 5 会員規則改訂版
 - 6 会費規則改訂版
 - 7 会員入会・退会リスト
 - 8 平成16年度収支決算書
 - 9 平成16年度会員総会議事録
 - 10 企画委員会報告
 - 11 情報政策研究会報告
 - 12 第3回情報政策研究会の開催案内通知
 - 13 表彰委員会報告
 - 14 平成17年度 理事選出実施要綱案
 - 15 第19回全国大会収支決算書
 - 16 日本学術会議会員候補者に関する情報提供について（依頼）
 - 17 会員候補者情報を提供していただくに当たっての留意事項
 - 18 平成17年度理事会・各委員会年間スケジュール表

1. 各委員会の運営および事業実施計画について

① 総務委員会

- ・ 資料1に基づき、委員会構成案が承認された。
- ・ 資料2に基づき、事務所光熱費増額については平成17年1月より年間18万円から30万円への増額が承認された。
- ・ 資料3に基づき、会費未納会員および宛先不明者についての対応策協議した結果、各理事が個別に対応することと、2年未納会員についてはサービス停止を確認した。
- ・ 資料4に基づき、定款改訂版が承認された。
- ・ 資料5に基づき、会員会則改訂版が承認された。
- ・ 資料6に基づき、会費会則改訂版が承認された。
- ・ 資料7に基づき、入会会員および退会会員が承認された。
- ・ 資料8に基づき、平成16年度収支決算書が承認された。
- ・ 資料9に基づき、平成16年度会員総会議事録が承認された。
- ・ 事務局移転の際、事務局長承認のもと一部過去の資料等を廃棄処分とした。
- ・ 会員Noを新たに作成することが承認された。

② 企画委員会

- ・ 資料10に基づき、委員構成案が承認された。
- ・ 資料10に基づき、来年度の情報通信月間に応募について承認された。
- ・ 資料10に基づき、ウェブ上で定例研究会開催を告知し、定例研究会を一部一般公開することが承認された。

③ 情報政策研究会

- ・ 資料11に基づき、委員構成案が承認された。
- ・ 資料12に基づき、第2回情報政策研究会開催案内通知が承認された。

④ 表彰委員会

- ・ 資料13に基づき、平成16年度研究発表賞候補2件が承認された。

⑤ 学術委員会

- ・ 資料15に基づき、第19回全国大会収支決算書が承認された。
- ・ 学会誌をHP上で公開することが承認された。

2. 理事選挙管理委員会について

- ・ 資料14に基づき、平成17年度理事選出要綱案が承認された。
- ・ 委員長は表彰委員会委員長小菅氏が担当することが承認された。
- ・ 理事選挙管理委員会委員を各委員会より1名、次回理事会までに選出することとなった。

3. その他

- ・ 資料16、17に基づき、「日本学術会議会員候補者に関する情報提供について」は協議の結果、会長、副会長に一任することが承認された。
- ・ 事務局体制変更にともない、常駐でなくなったことをHP上に掲載することが承認された。
- ・ 名簿、学会通信、学会誌は12月中に発送とする。
- ・ 資料18に基づき、平成17年度理事会・各委員会年間スケジュール表が承認された。
- ・ 次回第2回理事会は1月21日（金）18:00-20:00 会場：電気通信大学P棟517にて開催。

平成16年度総会報告

日 時 平成16年9月16日(金) 16:10~17:00
会 場 電気通信大学

[開催次第]

司会 根本敏則総務委員会委員長

- 1 会長挨拶
太田敏澄会長より、開会挨拶。
- 2 議長の選出
定款31条により、太田会長が議長となる。
- 3 総会の成立
平林事務局長より、定款第33条にもとづき、正会員数477名のうち、出席会員43名、委任状提出会員89名であり、正会員の1/4(120名)を超えているとの報告により、本総会は成立した。
- 4 議事
審議にあたり、書記(梅原寿夫氏)、議事録署名人(刀川真氏、今井雄一氏)を指名され承認された。

下記の各議案につき、議長、各常任委員長、事務局より報告と提議がなされ原案通り承認した。

第1号議案 平成16年度 事業報告

第2号議案 平成16年度 収支決算(案)

第3号議案 平成17年度 事業計画(案)

第4号議案 会費改定(個人会員)の審議

第5号議案 会員種別の変更(準会員廃止)の審議

第6号議案 平成17年度 収支予算(案)

その他学会運営に関する事項

<平成16年度学会賞の表彰の実施>

*表彰者および内容は、本学会通信へ別記してあります。

【第1号議案 平成16年度事業報告】**【総務委員会所管】** (委員長 根本 敏則)

1. 総務委員会の開催 開催 3回(1/19、7/23,*9/) *予定
定例会議の運営、会員管理、収支予算、会費徴収状況、規則、他 検討審議、理事会提案
2. 定例会議の企画、運営。
会員総会 1回(9/16)
理事会 6回(11/21、1/30、3/19、6/18、8/6、9/15)
評議員会 1回(9/15)
常任理事会
3. 学会通信の発行。
3回発行 Vol.19-1(12月15日) Vol.19-2(4月1日) Vol.19-3(8月23日)
4. ホームページ管理。
掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等
* 学会賞受賞者一覧掲載。
5. 財務管理。
・会費の徴収。(未納者への督促強化)
・平成16年度収支決算
・平成17年度収支予算作成。
* 経費削減方策の検討による予算への反映。
6. 名簿の作成。
17年度作成に当たり、会員情報確認業務。
7. 会員管理。 * 8 / 未現在
・平成16年度会員増減

種 類	入 会	退 会	
個人正会員	37	10	+17
団体正会員	2	9	-7
準会員	2	0	+2
計	33	15	

・会員数推移

種 類	15.9	16.8	増 減	備 考
個人正会員	412	429	+ 17	
団体正会員	55	48	- 7	
準会員	10	12	+ 2	
計	477	489	+ 12	宛先不明19名含む

8. 事務局移転
04.1に三鷹産業プラザへ移転した。

【企画委員会所管】 (委員長 福田 豊)

第1回企画委員会の開催

- [日 時] 平成16年3月4日(木)14:00~16:00
 [会 場] 電気通信大学 IS棟2階-233号室大会議室
 [出席者] 7名(敬称略・順不同)
 福田、天野、柚木、五藤、田中、永野、安田(和泉)
 [議 題] 1 事業実施計画について
 2 定例研究会における配布資料の実費負担について
 3 その他 [定例研究会の実施報告]

第91回定例研究会 参加者33名

- [日 時] 平成16年3月4日(木)14:00~16:00
 [会 場] 電気通信大学 IS棟2階-233号室大会議室

[テーマ] 『知のコモンズとしての図書館～情報化の新たな拠点～』

[講師] 竹内利明 氏(ビジネス支援図書館推進協議会 会長
/電気通信大学共同センター客員教授)

[司会] 福田 豊 (電気通信大学)

第92回定例研究会 参加者33名

[日時] 平成16年4月21日(水) 16:00~18:00

[会場] 電気通信大学 IS棟2階-215号室(中会議室)

[テーマ] 『進化するケータイ』

[講師]

(1) 藤澤一郎氏(株式会社NTTドコモ 移動機開発部 企画担当)

(2) 大村好則氏(KDDI株式会社 コンテンツ・メディア本部
コンテンツビジネスセンター準備室長)

[司会] 永野 寛(株情報通信総合研究所 政策研究グループリサーチャー)

第93回定例研究会 参加者42名

[日時] 平成16年5月31日(月)

[会場] トップانフォームズ(株)(汐留) 東京都港区東新橋

[プログラム] 「ユビキタス社会におけるICタグについて」

[講師] 宇高恵一氏

(トップンフォームズ(株) 情報メディア統括本部 統括本部長)

第94回定例研究会 参加者16名(全体では39名)

[日時] 平成16年7月3日(土) 14:00~17:00

[会場] 学習院大学 東2号館8F 第1会議室

*最寄り駅 JR目白駅 (豊島区目白1-5-1)

[テーマ] 『社会情報学の構築』

[報告] 正村 俊之(東北大学) 遠藤 薫(学習院大学)

[コメンタ] 伊藤 守(早稲田大学) 小林宏一(東洋大学)

[司会] 西垣 通(東京大学) 五藤寿樹(聖徳大学)

第95回定例研究会 参加者19名

[日時] 平成16年8月25日(水) 15:00~17:30

[会場] 松下電器産業パナソニックセンター

[テーマ] 『地上デジタル放送を活用した電子自治体サービスについて』

[報告] 若林 裕幸

(松下電器産業株式会社 eネット事業本部 PFインキュベーション担当 参事)

[司会] 福田 豊(電気通信大学)

【情報政策研究会の実施報告】 情報政策研究部会長 前田 隆正

第1回 開催日 平成15年12月1日(月)

会場 中央大学駿河台記念館

テーマ 「地方公共団体におけるシステム監査の現状と課題」

講師 監査法人トーマツ インタープライズリスクサービス部 山田 浩二

第2回 開催日 平成16年2月17日(火)

会場 大橋会館

テーマ 「IT活用の壁」(~学校情報化推進の経験から~)

文部科学省研究振興局学術研究助成課長 岡本 薫

第3回 開催日 平成16年4月19日(月)

会場 三鷹産業プラザ 703号室

テーマ 「ユビキタス社会の企業活動と経済政策」

経済産業研究所 フェロー 岸本 周平

第4回 開催日 平成16年7月8日(木)

会場 ジャパンシステム(株)

テーマ 「電子自治体推進の課題」

総務省自治行政局自治政策課 企画官 牧 慎太郎

「市川市における行政サービスのネットワーク化とセキュリティ対策」

市川市情報システム部 部長 井堀 幹夫

[学術委員会所管] (委員長 遠藤 薫)

1. 組織体制

学術委員会 (委員長: 遠藤薫)

| 副委員長: 刀川

| 委員 (全19名)

| 編集専門委員 (委員長: 廣松毅)

| | 副委員長: 岡田 (論文審査担当)

| | 副委員長: 五藤 (編集担当)

| | 副委員長: 佐藤 (規則担当)

| | 委員 (全31名)

| 研究促進専門委員 (委員長: 増田祐司)

| | 副委員長: 中嶋

| | 委員 (全 3名)

| 文献論文選考委員会 (委員長: 小林宏一)

2. 学術委員会開催

#1 2003年 11月10日(月) #5 2004年 05月11日(火)

#2 2003年 12月16日(火) #6 2004年 06月15日(火)

#3 2004年 02月02日(月) #7 2004年 07月21日(水)

#4 2004年 03月16日(火) #8 2004年 09月28日(火)

3. 学会誌発行状況

#15-2 2004年03月31日 #16-1 2004年9月発行予定

4. 投稿論文数 ・学術論文: 17件 (8月6日現在)

5. 採択論文数

・学術論文: 2件 (8月6日現在) (03-13、04-5)

6. 学位論文賞、優秀論文賞、優秀文献賞

(学位論文賞: 修士論文)

・論文賞 該当者なし

・奨励賞

森嶋壮一郎 (電気通信大学) 「PKIの課題と展望」

(学位論文賞: 博士論文)

・論文賞

高橋大志 (筑波大学) 「金融市場における投資家行動と価格変動に関する研究」

植田康孝 (早稲田大学) 「放送産業の費用構造と経済性に関する実証分析」

・奨励賞

山本仁志 (電気通信大学) 「双方向情報チャンネルの多様化環境化における集成的秩

序に関する研究」

角埜康雄 (筑波大学) 「企業経営においてITがもたらす価値」

・優秀論文賞: 廣松毅・他「非生産部門における情報設備の経済効果に関する定量分析」

・優秀文献賞: 該当無し

7. 研究部会 環境情報研究部会、複合情報環境研究部会、I S A C 研究部会

8. 内規の整備

9. HPの整備

10. その他企画事業

- ・2004年度学会大会にあわせて、「情報セキュリティ」に関するチュートリアルを開催（担当：櫻井成一朗）

[表彰委員会所管] (委員長 小菅 敏夫)

・表彰委員会開催

日 時：2004年8月3日（火） 午後6時 - 7時45分

場 所：電気通信大学大学院情報システム学研究科棟中会議室

出席者：太田会長、北村副委員長、尾関委員、平林委員、小菅委員長

協議事項

1. 平成16年度学会各賞の選考

- (1) 学会功労賞 該当者なし
- (2) 社会情報システム賞 三鷹市
- (3) 優秀文献賞 該当者なし
- (4) 優秀論文賞

文献論文選考委員会からの報告を受け一件を選考した。

「非生産部門における情報装備の経済効果に関する定量分析」

廣松 毅 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授

大平号声 東京国際大学経済学部 教授

小林 稔 和光大学経済学部 教授

坪根直毅 株式会社大和総研 主任研究員

栗田 学 株式会社大和総研 主任研究員 (連名)

- (5) 論文奨励賞 該当者なし

- (6) 大学院学位論文賞

(学位論文賞：修士論文)

・論文賞 該当者なし

・奨励賞

森嶋壮一郎（電気通信大学） 「PKIの課題と展望」

(学位論文賞：博士論文)

・論文賞

高橋大志（筑波大学） 「金融市場における投資家行動と価格変動に関する研究」

植田康孝（早稲田大学） 「放送産業の費用構造と経済性に関する実証分析」

・奨励賞

山本仁志（電気通信大学） 「双方向情報チャンネルの多様化環境化における集合的秩序に関する研究」

角埜康雄（筑波大学） 「企業経営においてITがもたらす価値」

- (7) 日本社会情報学会・秋山穰賞

秋山穰賞設定されたのを受けて今年度最初の候補者について審議の結果、この賞の趣旨目的に合った功績と若い研究者を表彰することを考慮し、今年度の学位論文賞（博士論文）の2名を選考した。

高橋大志（筑波大学）及び 植田康孝（早稲田大学）

- (8) 研究発表賞 *第18回全国大会研究発表者から選考された者

「ネットオークションにおける評判システムの効果に関する考察」

高橋寛幸（日本電信電話株式会社情報流通プラットフォーム研究所）

臼井幸弘（同上）

「広帯域情報通信網採用に関する集合住宅内の合意形成」

原田輝俊（早稲田大学大学院国際情報通信研究科博士後期課程）

三友仁志（早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授）

「社会情報学事典とエージェントモデルの統合を目指したシミュレータの開発」

石田和成（東京農業大学国際食料情報学部）

太田敏澄（電気通信大学大学院情報システム学研究科）

* 学会賞受賞者一覧をホームページへ掲載。

【第2号議案 平成16年度収支決算】(案)

[収入の部]

科目	予算	実績	対予算
正会員会費			
個人会員	2,900,000	2,557,000	-343,000
団体会員	3,100,000	2,500,000	-600,000
準会員	30,000	15,000	-15,000
(会費計)	6,030,000	5,072,000	-958,000
雑収入	30,000	261,603	231,603
収入合計	6,060,000	5,333,603	-726,397
前年度繰越高	284,371	284,371	0
合計	6,344,371	5,617,974	-726,397

[支出の部]

科目	予算	実績	対予算
1. 学会誌印刷費	1,450,000	1,060,000	390,000
2. 研究会開催費	350,000	253,496	96,504
3. 全国大会補助金	150,000	0	150,000
4. 分科会補助金	150,000	150,000	0
5. 学会賞作成費	150,000	150,000	0
6. 会員名簿作成費	50,000	7,917	42,083
7. 通信費	450,000	652,493	-202,493
8. 印刷費	500,000	295,453	204,547
9. 事務費	2,600,000	2,295,261	304,739
10. 備品費	50,000	31,711	18,289
11. 会議費	30,000	0	30,000
12. 消耗品費	30,000	57,038	-27,038
13. 雑費	10,000	25,492	-15,492
14. 支部補助金	150,000	150,000	0
15. 予備費	100,000	60,000	40,000
16. 事務局移転費	0	125,000	-125,000
支出合計	6,220,000	5,313,861	906,139
次年度繰越高	144,371	304,113	

* 雑収入の内訳には、研究部会補助金の返金 ¥90,000 および
ジャパンシステムからの家賃返金 ¥120,000 を含む。

【第3号議案 平成17年度事業計画】(案)

【総務委員会所管】(委員長 根本 敏則)

[1] 総務委員会構成。

10月末までに、下記の業務分担ごとに構成する。

	主たる担当業務	備考
委員長	全体統括・行事調整・	
副委員長	会議体運営、対外折衝、会員増強	
委員	財務関係、予算決算	
	会計、会費、会員管理、行事通知、規則、事務局	
	事務局補助(会計、行事通知、学会通信)	
	全国大会関係	
	全国大会関係(開催校)	
	HP管理、普及活動	
	HP作成・メンテナンス	
	委員長事務、委員会事務	

* 必要に応じ、委員を追加する。

* 主要会議体(理事会、評議員会、総会)の運営については、理事会への提案による決定にもとづき役割を分担し実施する。

[2] 事業・業務内容。

1. 運営。* 総務委員会の開催。(年間3回以上)

総務委員会は、学会事務局内へ置く。

各委員会、各支部との連携による運営。

2. 主要会議の開催業務。

(業務: 通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営)

理事会(年5回: 11月、1月、3月、7月、9月)

* 各委員会からの議題・報告の事前確認。

常任理事会(随時)

評議員会(年1回: 9月)

会員総会(全国大会開催日の初日) * 8月開催理事会にて、議案決定。

3. 諸規則の整備。

規則集の作成と関係役員への配布。

主要規則のホームページへの掲載(依頼)。

・定款、会員規則、会費規則、学会誌投稿関係規則類。

4. 学会通信の発刊(年2 - 3回: 12月、4月)

5. 財務管理。(予算・決算)

平成17年度収支決算。(月度決算)

* 徹底した収支管理をしていく。

* 各種通知業務の効率化。(メールでの通知の徹底を図る)

平成18年度収支予算案の作成。(理事会へ提案)

6. 会費の徴収。(予算・決算)

平成17年度・会費の請求。(10月)

未納者への督促・再請求。(12月、2月、5月、8月)

未納者への対応 * サービス停止・除名等を会員へ周知する。

7. 会員管理。(既存会員・新入会員、退会会員)

会員の確認。(会員種別: 個人正会員、団体正会員、準会員廃止)

会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化。

学会概要(入会案内)の作成。・HPへのダウンロード可能対応。

会員増強策

* 会員名簿の作成 10月末

8. 理事選挙業務支援。

- 9. ホームページへの全体管理、運営。
- 10. その他

[企画委員会所管] (委員長 福田 豊)

1. メンバー構成

メンバーを一新し、委員長推薦のコアメンバーと、会員からの応募によるメンバーからなる委員会を構成し、活動力を高める。

2. 委員会開催 (3回)

(1) 方針

各研究会の担当 (委員構成) 明確化による運営

(2) 審議事項

研究会の活性化について

年間スケジュール

各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝 (依頼状、発表方法、配付資料) 会場 案内方法

当日の運営と報告書作成について

(3) 日程

未定

3. 事業内容

(1) 定例研究会企画実施 (年間5回)

11月 01月 03月 05月 07月

(2) 情報政策研究会 (年間5回)

12月 02月 04月 06月 08月

(3) 第20回全国大会の開催

(4) その他

大学院生対象の定例研究会設置について (継続)

外部に対する普及活動

- ・各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開
- ・他学会主催研究会等への参画 (後援・共催・協賛等)

定例研究会の内容見直し

- ・研究アクティビティ支援のための定例研究会という性格を強化する
- ・テーマ設定についての工夫

たとえば、各研究部会の活動報告をしてもらい、それについての議論をすることなど

- ・会員の学術研究発表の場を作る

[学術委員会所管] (委員長 遠藤 薫)

[1] 学術委員会の開催 *年5回以上開催する

[2] 構成

委員長 遠藤 薫 (学習院大学)

副委員長 刀川 眞 (NTTデータ)

委員 廣松毅 (編集専門委員委員長) 小林宏一 (文献論文選考委員長) 五藤寿樹 (編集専門委員会副委員長 論文審査内規担当) 岡田勇 (編集専門委員会副委員長論文審査総括担当) 中嶋聞多 (編集専門委員会副委員長 編集担当) 未定 (学会誌チュートリアル担当) 増田祐司 (研究促進委員会委員長) 刀川眞 (JSTデータベース担当) 佐藤佳弘 (内規整備担当) 中井豊 (HP整備担当) 桜井成一郎 (学術委員会主催チュートリアル担当) 他

- ・学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく

- | | | |
|--------------|-----|---------------|
| 1. 編集専門委員会 | 委員長 | 廣松毅 (東京大学) |
| 2. 文献論文選考委員会 | 委員長 | 小林宏一 (東洋大学) |
| 3. 研究促進委員会 | 委員長 | 増田祐司 (島根県立大学) |

[3] 事業・業務内容

1. 学会誌の発行
年2回の刊行を定常化し、さらに発行回数の増加をはかる。
2. 学会誌の構成に関する検討
多様なジャンルを検討する。
3. 優秀文献の選考
全国大会における研究発表賞の審査を行う。
学位論文賞の選考。
優秀論文賞の選考。
優秀文献賞の選考。
4. 研究部会
平成17年度は以下の研究部会が継続中である
環境情報研究部会 (主査 太田敏澄)
複合情報環境研究部会 (主査 遠藤薫)
ISAC研究部会 (主査 中嶋聞多)
5. 学会発表データベースの移行
さらに学会員へのサービス向上が期待される。
6. 横断型基幹科学技術研究団体連合への参加
7. 学術委員会主催のチュートリアル・シンポジウムの開催

[表彰委員会所管] (委員長 小菅 敏夫)

前年度、表彰推薦について表彰該当なしの分野があること、又推薦数が少ないことから会員への周知の方法や広範囲の方々からの推薦依頼をする策を図る。
また、HPの有効活用にも努力する。

1. 事業内容

平成17年度の学会賞について、表彰に関する諸規程に基づき、事業の活性化を図りながら次の表彰事業を実施する。

学会功労賞	大学院学位論文賞
優秀文献賞	社会情報システム貢献賞
優秀論文賞	日本社会情報学会・秋山穰賞
論文奨励賞	研究発表賞

2. 運営専門委員会

次の専門委員会を設置して行う。

功労選考委員会	(学会功労賞および社会情報システム貢献賞)
文献論文選考委員会	(優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、および研究発表賞)
秋山穰賞選考委員会	

3. 事業日程等

表彰候補者の推薦

推薦公募のお知らせは、学会通信への公示によりおこなう。

なお、研究発表賞は、全国大会の研究発表の中から選考する。

表彰の実施

全国大会の会員総会において行う。

【支部活動】**【第1号議案 / 第3号議案 平成16年度事業報告 / 平成17年度事業計画(案)】****1. 関西支部****<平成16年度事業報告>****第9回研究会 参加者55名**

統一テーマ「インターネット時代のインテリジェンス諸相」

平成15年7月5日(土)大阪大学 待兼山会館

実行委員長 小郷直言(大阪大学)

研究発表(1-3) 座長:岡田定(岡山理科大学)

「携帯電話市場におけるネットワーク効果」

山本景、小郷直言(大阪大学)

「インターネット時代の個人情報保護に関する基礎的研究」

井戸田博樹(大阪成蹊大学)

「情報システム開発過程におけるシステム監査の意義と効果」

- 大阪府電子調達システム開発委託におけるシステム監査の事例より -

中野節子、山本元之、岡本豊生、安本哲之助(情報システム監査株)

研究発表(4-6) 座長:安本哲之助(鳥取環境大学)

「Web開発言語体系の同行とその決定メカニズムについて」 - 企業はいかにしてASP、JSP、PHPを評価し選択するべきか -

宮沢弦、田中正純(アシアル)、小郷直言(大阪大学)

「イラク戦争とネットワーク社会」 高瀬宜士(帝塚山大学)

「街なみ・まちづくり支援のための変遷景観分析」

山野高志、吉川真(GIS総研、大阪工業大学)

第10回(記念)研究会 参加者49名

太田会長、平林事務局長をお迎えし、実施いたしました。太田会長には特別講演をお願いしました。また、GIS学会会長(当時)である碓井照子先生(奈良大学)による招待講演を実現し、GIS学会との連携を強め研究の幅を広げました。

統一テーマ「地域情報化への取組みとその社会情報学的課題」

平成15年12月13日(土)大阪市立大学 学術情報総合センター

実行委員長:小郷直言(大阪大学)、運営委員長:中野秀男(大阪市立大学)

特別講演「ユビキタス時代の社会情報学」 - ハーネシングのうまみ -

日本社会情報学会会長 太田敏澄(電気通信大学)

研究発表(1-3) 座長:岡田定(岡山理科大学)

「『e-Japan戦略』と中小企業のIT化課題」

- 公的なIT化支援と中小企業のIT化課題のギャップ -

黒田賢三(日本総合研究所)

「大淀町における情報セキュリティ対策の取組みとその効果」(あらかしの町の元気な取組み)

樋口勝彦、多賀輝光(情報システム監査株)

「大阪市地域情報化の最近の動向:TA0西成区での実験からIT拠点構想まで地域の情報化について」 中野秀男(大阪市立大学)

招待講演「阪神淡路大震災からの教訓とGIS」

GIS学会会長 碓井照子(奈良大学)

研究発表(4-6) 座長:中野秀男(大阪市立大学)

「大阪府地区における官民共同でのGISデータの整備」

松村一保、窪田諭、宗平順己(オーグス総研)

「韓国におけるオンラインコミュニティの動向と影響」

菜洙栄、金炫澈、小郷直言(大阪大学)

「SCMからDCMへ：情報共有の視点から」

崔 宇、太田雅晴（大阪市立大学）

・平成16年度末 会員数 団体会員 5団体、個人会員 41名

第12回研究会 参加者54名

統一テーマ「飛躍への基盤：自治体の情報化と産業創出のマネジメント」

平成16年7月10日（土）大阪大学 待兼山会館

実行委員長 小郷直言（大阪大学）

研究発表(1-3) 座長：松田貴典（大阪市立大学）

「EA、オープンソースと電子自治体」宗平順己、明神知（㈱オージス総研）

「情報セキュリティマネジメントサイクル（PDCA）における情報セキュリティ監査の役割とその効果 - 自治体の全短事例に基づく考察 - 」

藤森守、安本哲之助、中野節子（情報システム監査㈱）

「住基ネットの報道と問題点について」 高瀬宜士（帝塚山大学）

研究発表(4-6) 座長：小郷直言（大阪大学）

「日本型経営システムにおけるイノベーション集団創造手法の検討」

柳原秀基、中野秀男（大阪市立大学）

「モジュール化によるセキュアな組織設計」

飛田治則（大阪市立大学大学院、㈱ルシアン）

「新産業の創出に求められる地域と企業の関わり - ベンチャー企業をケースにして」

文能照之（近畿大学）

<平成17年度事業計画(案)>

定期研究会の具体的な実施計画については、「第20回全国大会」の関西開催を念頭に置き、他学会との共同開催も視野に入れて検討します。

第12回研究会

統一テーマ「異文化コラボレーション」

日時・場所 平成16年12月27日（土）京都大学

構成

研究発表は、前半/後半の2部構成を基本としますが、それとは別に「異文化コラボレーション」をテーマとした招待講演もしくはパネルディスカッションも検討しています。

第13回研究会 7月 大阪大学

第14回研究会 11月 京都大学または大阪市立大学

2.九州支部

<平成16年度事業報告>

* 支部総会：<日時>平成15年12月13日（土）13:00～14:00

<会場>西日本電信電話株式会社・福岡支店

<議題>（1）平成15年度活動報告と決算報告

（2）平成16年度事業計画案と予算案

出席者： 16名

第19回定例研究会 出席者： 16名

<日時>平成15年12月13日（土）14:00～17:00

<報告テーマ>

1. 「伊万里市の電子市役所の取組みについて」

伊万里市役所総務部情報管理課 深浦弘信

2. 「九州の各都市の情報化への取組みの現状・比較」

下関市立大学 財部忠夫

3. 「新光世代ビジョンについて」 16:00～17:00

NTT西日本 井上雅

第20回定例研究会 出席者： 11名

<日時> 2004年3月12日(金) 13:30~17:30

<会場> 九州産業大学・1号館10階・経営学部会議室

<研究会内容>

1. 特別シンポジウム：13:30~15:40

「地域情報化の推進方法」 反省と今後の課題 -

* 司会： 財部忠夫

* パネラー： 九州産業大学 渡部榮 先生

九州テレコムセンター 古賀豊 氏

その他

平成16年度第8回総会並びに第21回定例研究会(予定)

<日時> 平成16年9月25日(土) 13:00~17:00

<場所> 中村学園大学・西4号館・会議室

<総会> (1) 平成16年度活動報告と決算報告

(2) 平成17年度事業計画案と予算案

<報告テーマ> 未定： 現在、募集中

<平成17年度事業計画(案)>

(1) 第22回定例研究会

平成16年12月初旬(於：NTT西日本) 報告： 3件

(2) 第23回定例研究会

平成17年3月下旬(予定)(於：ジャパンシステム) 報告：3件(未定)

(3) 平成17年度第9回総会並びに第24回定例研究会

平成17年9月初旬(於：中村学園大学) 報告：3件(未定)

注) この平成17年度事業計画(案)、平成17年度予算(案)も、平成16年9月予定の第8回総会にて、諮り、承認を得る予定。

3. 中部支部

<平成16年度事業報告>

1. 平成16年度総会

日時：平成15年12月11日(木) 17:15~17:45

場所：愛知学院大学楠元キャンパス基礎棟第2会議室

議事：1. 平成15年度事業報告

2. 平成15年度収支決算

3. 平成16年度事業計画

4. 平成16年度収支予算

2. 運営委員会

第6回運営委員会

日時：平成15年12月11日(木) 17:00~17:15

場所：名古屋産業大学324講義室

議題：平成16年度総会議案、その他

第7回運営委員会

平成16年9月に開催予定

議題：平成17年度総会議案、その他

3. 講演会など

講演会(共催)

日時：平成15年12月11日(木) 15:00 - 17:00

場所：愛知学院大学楠元キャンパス基礎棟第2会議室

演題：環境対応商品の市場性

講師：蔡壁如 台湾義守大学企業管理学院助教授

<平成17年度事業計画(案)>

1. 平成17年度総会
平成16年10月開催予定
2. 運営委員会
年4回開催予定(11月・2月・5月・9月)
3. 研究会
環境経営フォーラム その他
4. 講演会(共催・後援など)

【第4号議案 会費改定(個人会員)の審議】

<改定趣旨>

年会費について、10余年間、個人会員(8000円)、団体会員(1口50000円)とも会費金額の変更をせず、会員皆様のご協力で、各種事業展開をして参りました。

しかし、今後の本学会の各種事業展開の更なる拡充を計るためには、現状の会費収入では支障をきたす恐れが出て参りました。

また、1例を挙げると、本学会事業の主要な事業展開の主要施策である「学会誌」の発行回数を平成12年度(12巻)より、年1回から2回になり、この発行経費(1回:印刷費60万円、発送費8万円)が倍になっております。

以上のような背景により、下記内容にて、会費規則の改定を提案いたします。

<個人会費改定案>

(会費)

「会費規則第2条 正会員の会費は、個人会員については年額8,000円、団体会員については年額1口50,000円・・・中略」を下記の通り改定する。

「会費規則第2条 正会員の会費は、個人会員については年額10,000円、団体会員については年額1口50,000円・・・中略」

*改定による増収予測は、562,000円

(個人正会員380名×0.7×2,000円=532,000円)+(学割50名×0.6×1,000円=30,000円)

【第5号議案 会員種別の変更(準会員廃止)の審議】

<改定趣旨>

主に行政関係の会員の増強を趣旨として、平成9年度に、準会員を創設しました。準会員には総会での議決権と選挙への投票権がありませんが、他は、正会員と同等のサービスを受けることが出来ません。

しかし、現在の準会員は6名(行政関係会員:0名)に止まっており、本増強策は十分に機能していません。また、学会誌の発行が年2回になり、準会員の会費(3,000円)と不具合が生じてきています。

以上のような背景により、下記内容にて、会費規則の改定を提案いたします。

<準会員廃止案>

定款第3章第6条 本会の会員は以下の4種とし、・・・中略

- (1) 正会員 個人会員 団体会員
- (2) 準会員
- (3) 特別会員
- (4) 名誉会員

から、(2)準会員を削除し、「本会の会員は以下の3種とし、・・・中略」とする。

*よって、会費規則からも、準会員の項を削除する。

*なお、現準会員には、趣旨を理解していただき、個人会員への変更をお願いする。

【第6号議案 平成17年度収支予算】(案)
 (自 平成16年10月1日 至 平成17年9月30日)

[収入の部]

科 目	予 算	平成16年度実績額
正会員会費		
個人会員	3,183,000	2,557,000
団体会員	2,250,000	2,500,000
(準会員)		15,000
(会費 計)	5,433,000	5,072,000
雑収入	30,000	261,603
収入合計	5,463,000	5,333,603
前年度繰越高	304,113	284,371
合 計	5,767,113	5,617,974

[支出の部]

科 目	予 算	平成16年度実績額
学会誌印刷費	1,250,000	1,060,000
研究会開催費	300,000	253,496
全国大会補助金	150,000	0
分科会補助金	200,000	150,000
学会賞作成費	150,000	150,000
会員名簿作成費	170,000	7,917
通 信 費	700,000	652,493
印 刷 費	380,000	295,453
事 務 費	1,852,000	2,420,261
備 品 費	60,000	31,711
会 議 費	10,000	0
消 耗 品 費	57,000	57,038
雑 費	25,000	25,492
支部補助金	150,000	150,000
予備費	100,000	60,000
支出合計	5,554,000	5,313,861
次年度繰越高	213,113	304,113

【日本社会情報学会 平成16年度学会賞】
<平成16年9月16日 表彰>

【日本社会情報学会 平成15年度・社会情報システム貢献賞】(団体)
三鷹市(代表 市長 清原 慶子)

[表彰事由]

三鷹市は、長年にわたって自治体におけるIT施策について先進的な取り組みを行っている。特に近年では、「SOHO CITY みたか構想」に基づき「SOHOベンチャーカレッジ」などの特色ある取り組みでSOHO支援を充実させていることや、「子ども・子育て支援」に関連して市民や民間企業と市が協働で多角的な子育て情報をトータルに提供するホームページ「みたか子育てねっと」を運営していること、また、より豊かで便利な市民生活を実現させるために、ITなどの先進的な技術を用いた実証実験を三鷹市をフィールドとして行う「あすのまち・三鷹」推進協議会での活動など、社会情報システム全般に対する貢献度が高い。

【日本社会情報学会・優秀論文賞】

廣松 毅(東京大学)

大平 号声(東京国際大学) 小林 稔(和光大学)

坪根 直樹(株大和総研) 栗田 学(株大和総研)

論文標題「非生産部門における情報装備の経済効果に関する定量分析」

[表彰事由]

本論文は、人、モノ、金とならび企業の経営資源の四要素のひとつとされる情報(とそれを扱うツールとしての情報システム)が、企業業績にもたらす貢献可能性とその内実の変化を、企業の非生産部門に焦点をあわせつつ定量的視点から分析したものである。

本論文については、企業の情報化を「経営の効率アップによる企業の競争力の優位化」から「人・組織が一体となった情報価値の創造による競争力の優位化」へと重点を移行しなければならないにもかかわらず、非生産部門におけるそのような方向へのシフトが遅れている点を、的確な問題意識、堅固な論理構成のもとで論じられている点を論文審査担当者が高く評価したことを受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記優秀論文賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・学位論文賞】(修士論文・奨励賞)

森嶋 莊一郎(電気通信大学)

論文標題「PKI(Public Key Infrastructure)の課題と展望」

[表彰事由]

本論文は、ネットワーク・セキュリティの基盤としてのPKIがかかえる課題と今後の展望を、従来セキュリティ確保の根拠を情報倫理に置く個人的文脈から切り離し、PKIシステムを運用する専門家集団とその利用者との信頼関係に焦点を当てる制度的文脈のもとで論じることの必要性を提唱したものである。

本論文については、ルーマン、ギデンスといった社会学者の提唱する「信頼」概念に基づいて、PKIの課題とその可能性を論ずるという着想のユニークさと、論述の手堅さが論文審査担当者から高い評価を得たことを受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記論文奨励賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・学位論文賞】(博士論文・論文賞)

高橋 大志(筑波大学)

論文標題「金融市場における投資家行動と価格変動に関する研究」

[表彰事由]

本論文は、心理学の成果を導入しつつ投資家行動を分析する新たな理論潮流としての「行動ファイナンス」論の文脈において、完全に合理的でない意志決定にゆだねられる投資家行動と資産価格変動との間の相関性を実証分析およびAgent-Based Approachによって明らかにしようとしたものである。

本論文については、複数の手法を用いつつ、解明困難な課題を平易に定式化、解明し、興味深い知見を導出し得た力量に対し、論文審査担当者から高い評価が付与されたこと

を受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記論文賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・学位論文賞】(博士論文・論文賞)

植田 康孝(早稲田大学)

論文標題「放送産業の費用構造と経済性に関する実証分析」

[表彰事由]

本論文は、計量経済的手法に基づきつつ、既存の地域放送産業における規模の経済性・垂直統合性を分析し、規模の経済性が認められる一方、垂直統合による費用節減効果は認められないことを明らかにしたうえで、放送事業者間でのネットワーク・シェアリングの有効性を分析・提唱したものである。

本論文については、これまで実証分析のほとんどなかった放送産業の分析に取り組みつつ、今日的課題となっている放送産業の水平的・垂直的再編論議に一石を投じている点に対し、論文審査担当者から高い評価が付与されたことを受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記論文賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・学位論文賞】(博士論文・奨励賞)

山本 仁志(電気通信大学)

論文標題「双方向情報チャンネルの多様化環境下における集合的秩序に関する研究」

[表彰事由]

本論文は、多様な双方向情報チャンネルの拡張を背景にして生起する集合秩序形成の新たな様相を、消費者行動、モバイル通信における個人間関係形成過程、ネット上でのいわゆる仮想空間における社会的ジレンマの形成過程といった具体的事象を対象としつつ、Agent-Based Approachにより分析したものである。

本論文については、「協調・非協調」、「集中・分散」という枠組みのもとで集合秩序の形成メカニズムを分析し、いくつかの仮説的説明を提示し得ている点が論文審査担当者から高く評価されたことを受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記論文奨励賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・学位論文賞】(博士論文・奨励賞)

角埜 康雄(筑波大学)

論文標題「企業経営においてITがもたらす価値」

[表彰事由]

本論文は、日本企業におけるIT導入の実態を念頭に置きながら、「IT投資・装備」、「IT化の組織活動」、「IT経営効果」という三要因間の因果構造を実証的に明らかにすることを通して、日本企業の「IT経営」の特質と課題を明らかにしようとしたものである。

本論文については、先行研究や独自調査をふまえつつ「3C-DRIVE」、「IT経営度」といった諸尺度を提唱し、今後の日本の情報化過程において企業が留意すべき視点を提示し得ている点が論文審査担当者から高い評価を得たことを受け、論文表彰小委員会は、本論文が表記論文奨励賞受賞にふさわしいとの判断に達した。

【日本社会情報学会・秋山穰賞】 *今年度新設

日本社会情報学会・既存の賞の対象・分野を包含、統括するもので、個別分野・総合的分野でも、「社会情報(学)」の進展に、特に、顕著なものを対象とする。

受賞者 高橋 大志(筑波大学)

植田 康孝(早稲田大学)

[表彰事由]

両氏は、平成16年度の博士論文において、大学院学位論文賞を受賞され、その内容およびその取組み姿勢が卓越したものであり、今後の社会情報学進展へ大きく貢献するものと判断し、秋山穰賞を贈ります。

【日本社会情報学会第18回全国大会研究発表優秀賞】**(平成15年10月11日発表)**

- * **高橋 寛幸** (日本電信電話(株)情報流通プラットフォーム研究所)
白井 幸弘 (同上)
発表標題「ネットオークションにおける評判システムの効果に関する考察」

- * **原田 輝俊** (早稲田大学) **三友 仁志** (早稲田大学)
発表標題「広帯域情報通信網採用に関する集合住宅内の合意形成」

- * **石田 和成** (東京農業大学) **太田 敏澄** (電気通信大学)
発表標題「社会情報学事典とエージェントモデルの統合を目指したシミュレータの開発」

- * 標記の研究発表は、第18回全国大会を対象として選考済みです。
(学会通信 Vol.19-1 2003.12.15 掲載)
- * 受賞者の発表要旨は、「第18回全国大会研究発表論文集」に掲載。

平成17年度・学会賞候補推薦について

平成17年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日	推薦要領掲載案内予定
大学院学位論文賞	17年4月14日(月)	学会通信 12/15、4/1 HP 2/末
優秀文献賞	17年5月27日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
優秀論文賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
論文奨励賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
学会功労賞	17年6月24日(金)	学会通信 4/1 HP 2/末
社会情報システム貢献賞	同 上	学会通信 4/1 HP 2/末
*「秋山穰賞」		別途選考要綱に基づく

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

*各賞の推薦要領については、別途、学会通信(05.4.1発行)および学会ホームページに掲載致します。

今年度は、別記の通り、総会・全国大会の開催日が9月12,13,14日に予定されていますので、各賞推薦の締切日が早まっていますのでご留意下さい。

[功労選考委員会]

選考区分：
・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分：
・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

各推薦書は、コピー(A4に拡大)してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

(2月中旬以降)

平成16年12月15日

日本社会情報学会

第8回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 太田 敏澄

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成16年4月1日～平成17年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

- 1. 受付期限 平成17年4月14日(月)*必着
- 2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト 内
日本社会情報学会事務局
TEL/FAX 0422-40-2062
- 3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
- 4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
- 5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____ 大学 _____ 研究科
_____ 専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

[受付] 平成 年 月 日 [受付者氏名]

研究会報告

[平成17年度 第1回情報政策研究会]

日時 平成16年10月25日(月) 15:00~17:00

会場 中央大学駿河台記念館 「320号室」 3階

講演 - 1 「モバイル・シティとそれを支える技術」 中嶋 信生 氏
電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授

[平成17年度 第2回情報政策研究会]

日時 平成16年12月6日(月) 15:30~17:00

会場 中央大学駿河台記念館 「330号室」 3階

講演 - 1 「e-Japan 最終局面と日本電子政府」 牧内 勝哉 氏
経済産業省商務情報政策局(電子政府担当)情報プロジェクト室長

[平成17年度 情報交流会]

日時 平成16年12月6日(月) 17:30~19:00

会場 中央大学駿河台記念館1階レストラン「プロオール」

[平成17年度 第3回情報政策研究会](予定)

日時 平成17年2月7日(月) 15:00~16:30

会場 霞ヶ関ビル30階 NTTデータ会議室

講演 - 1 地域社会の情報化の基盤となる「次世代地域情報プラットフォーム」と
「自治体情報システム革命」 谷 史郎 氏
総務省情報通信政策局地方情報化推進室室長

委員会報告

[総務委員会]

[1]第2回理事会開催通知

日時 平成17年1月21日(金) 18:00~19:30

会場 電気通信大学

議事 1.理事選挙について
2.第20回全国大会について

[2]平成17年度会費および過年度未納会費の請求。

[3]会員への行事案内等の通信業務のメール化・FAX化検討。 次回理事会へ提案。

[企画委員会]

[1]第1回企画委員会

日時 平成16年11月19日(金) 18:30~21:00

会場 電気通信大学

議事 1.事業計画 2.定例研究会運営

[1]第2回企画委員会(予定)

日時 平成17年1月19日(水) 18:30

会場 電気通信大学

[学術委員会]**[1]第1回学術委員会**

日 時 平成16年11月9日(火) 18:00
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1.学会発表データベースの移行について
2.学会ホームページの整備について

[2]第2回学術委員会

日 時 平成16年12月13日(月)
会 場 東京大学駒場2号館306号室
議 事 1.学会発表データベース(J-STAGE)の移行について
2.学会ホームページの整備について
3.全国大会
4.未完了項目

[3]第3回学術委員会(予定)

日 時 平成17年2月16日(水) 15:00
会 場 東京大学駒場2号館

[表彰委員会]

第1回理事会で承認された表彰関係事業計画にもとづき、実施する。
第8回大学院学位論文賞の推薦公募を本学会通信へ掲載。

支 部 活 動

[九州支部]

1. 平成16年度第7回総会並びに第19回定例研究会

* 支部総会：<日時>平成15年12月13日(土)13:00~14:00

<会場>西日本電信電話株式会社・福岡支店

<議題>(1)平成15年度活動報告と決算報告

(2)平成16年度事業計画案と予算案

出席者：16名

・議題(1)、(2)とも全会一致で承認された。

2. 第19回定例研究会

<日時>平成15年12月13日(土)14:00~17:00

<報告テーマ>

1.「伊万里市の電子市役所の取組みについて」

14:00~14:50

伊万里市役所総務部情報管理課 深浦 弘信 氏

2.「九州の各都市の情報化への取組みの現状・比較」

15:00~15:50

下関市立大学 財部 忠夫

3.「新光世代ビジョンについて」 16:00~17:00

NTT西日本 井上 雅 氏

出席者：16名

3. 第20回定例研究会

<日時> 2004年3月12日(金) 13:30~17:30

<会場> 九州産業大学・1号館10階・経営学部会議室

<研究会内容>

1. 特別シンポジウム：13:30~15:40

「地域情報化の推進方法」 反省と今後の課題 -

* 司会： 財部 忠夫

* パネラー： 九州産業大学 渡部 榮 先生

九州テレコムセンター 古賀 豊 氏

その他

出席者：11名

4. 平成16年度第8回総会並びに第21回定例研究会(予定)

<日時>平成16年9月25日(土)13:00~17:00

<場所>中村学園大学・西4号館・会議室

<総会>(1)平成16年度活動報告と決算報告

(2)平成17年度事業計画案と予算案

<報告テーマ> 未定：現在、募集中

12月に延期。

第11回社会情報システム学シンポジウム 参加者募集

主催 社会情報システム学研究会
共催 日本学術会議 経済政策研究委員会
「産業の活性化と情報」小委員会（依頼中）
経営情報学会 社会情報と情報組織化研究部会
日本社会情報学会 環境情報研究部会
電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーション

社会情報システム学研究会では、2005年1月28日（金）に、第11回社会情報システム学シンポジウムを、日本学術会議経済政策研究委員会「産業の活性化と情報」小委員会（依頼中）、経営情報学会「社会情報と情報組織化」研究部会、日本社会情報学会「環境情報」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集を発行いたします。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要および英文概要は、科学技術振興機構のデータベース（JDreamのJSTPlus）に登録します。

ご関心のあります多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、今回は、会場が千葉商科大学ですので、ご留意下さい。

記

日時 2005年1月28日（金）10:20～17:15

会場 千葉商科大学

（〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1）

TEL：047-372-4111（代表）

大学へのアクセス URL <http://www.ef.cuc.ac.jp/INFORMATION/MAP/>

<プログラム>

10:20～10:30 開会の挨拶 熊田禎宣（千葉商科大学）

10:30～12:30 一般セッション講演

12:30～13:30 休憩

13:30～14:30 特別講演 「人口減少社会の社会基盤づくりをどうすすめるか」
松谷明彦（政策研究大学院大学）

14:45～17:15 一般セッション講演

懇親会：17:30～19:00

なお、一般セッション講演のプログラムは、

URL <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>

にてご覧下さい。

<参加費>

個人3,000円、登壇者5,000円、法人10,000円、懇親会費5,000円

事前振込の場合、各500円引きとなります。

2005年1月21日（金）までにお振り込みの上、受領証をお持ち下さい。

郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局

研究会代表 太田敏澄 Fax&Tel: 0424-43-5660 e-mail: ohta@is.uec.ac.jp

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 情報システム運用学専攻

社会情報システム学講座 URL:<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>

事務局たより

平成 16 年度の各事業は、各会員の皆様のご協力により、例年になく充実した内容で終わることが出来ました。

また、事務局業務へも一方ならずご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

§ 会費納入のお願い

今年度の会費をご請求させて頂きましたので、よろしくご納入の手続きをお願い申し上げます。

過年度の会費がご事情により未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

また、今年度は理事選出選挙が行われます。過年度の会費が未納会員は選挙権も失いますのでご留意ください。主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

§ 事務局体制変更につきまして

平成 17 年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

§ 会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。宛先 TEL/FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp